新聞掲載

平成27年度



福井新聞　2015年（平成27年）4月10日（金曜日）

社南公民館

桜のお守り作り開始

住民ら 至民中3年に贈呈へ



お守りに入れる押し花にするため、学校の庭の桜の花を採取する児童＝8日、福井市社南小

福井市社南公民館は、来年春に卒業する至民中3年生に「桜のお守り」を贈る。「見守っている人がたくさんいることを忘れないで」の思いを込め、児童や婦人会メンバーらが協力して押し花のお守りに仕上げる。卒業生の多くが同校に通う社南小で、後輩の児童が桜の花を採取し制作が始まった。

お守り作りは、昨年度から実施。社南小の庭の桜の花と若葉を押し花にしてラミネート加工する。裏面には「きっと大丈夫！　どんなときもあなたを見守っている人がたくさんいることを忘れないで」のメッセージを書き込み、桜柄の藍染めの袋に入れる。

8日は社南小の6年生が採取した桜を、公民館で主事が押し花にした。制作や道具は地元の押し花講師が協力。夏休みに児童がラミネート加工を施す。お守り袋は地元婦人会メンバーらが縫い、〝オール社南〟のお守りに仕上げる。10月に贈呈式を行うことにしている。

担当主事の吉垣優美さんは「社南のみんなが見守っているよという思いを込めた。大人になったとき自分の地区の良さを思い出すきっかけになればうれしい」と話している。（近藤洋平）

2015年（平成27年）4月10日　福井新聞

健康長寿こつ伝授
箸店創業者が講演
社南公民館講座

福井市社南公民館の健康長寿講座「えもり学級」の講演会が21日、同公民館で開かれた。若狭塗箸製造販売「せいわ箸店」（小浜市）創業者の木越和夫さん（70）が、ジョークを交えながら「長生きには手と口を動かすこと」などと話し、60代から80代の約70人が楽しく健康について考えた＝写真。



木越さんは全国で会社経営や箸に関する講演を行っている。今回は金色の小づちを手に大黒様の衣装で登場。「お箸使いはボケ防止」と題し、軽妙な語りで笑いを誘った。「長生きする人は箸を使い良くかんでいる。元気に生きるためには手と口を動かすことが大切」と健康長寿のこつを話した。最後は受講生全員で「100歳まで長生きするぞ！」と大きな声を上げ、会場は笑いに包まれた。（北島将志）

2015年（平成27年）5月23日　福井新聞

20代女性向けに
掃除や貯蓄講座
21日から社南公民館

若い女性が部屋の上手な片付け方や貯蓄方法などを学ぶ講座「20代で身に付けたいこと『はじめの一歩』編」が21日から9月23日まで6回シリーズで、福井市社南公民館や同市渕2丁目の出雲記念館などで開かれる。20代の女性20人を募っている。

講座では調理の基本や食卓を美しく彩る料理、腹式呼吸を取り入れた体のケアなどを学ぶ。最終日はウエディングドレスの試着と記念撮影を行う。

参加費は材料費を除き無料。地区外からも参加できる。問い合わせ・申し込みは同公民館＝☎0776（35）9559。

2015年（平成27年）6月18日　福井新聞

立ち居振る舞い
女性6人が磨く
出雲記念館で講座開講

料理や貯蓄方法など若い女性が身に付けておきたいスキルを学ぶ講座が21日、福井市渕2丁目の出雲記念館で始まった＝写真。初日は20代女性6人が参加し、美しい立ち居振る舞いを学んだ。

講座は同市社南公民館と同記念館が企画し、9月まで6回シリーズで開く。

この日は、マナー講師の八代ゆり子さん（47）が指導。参加者を鏡の前に立たせて、膝を内側に入れ、肩から足にかけて逆三角形になるように意識すると美しく見えるなど立ち居振る舞いのこつを教えた。



同市下江守町の津田幸華さん（23）は「ビジネスや式典などでも生かせそう。日ごろから気を付けたい」と話していた。（北島将志）

2015年（平成27年）6月26日　福井新聞

原爆の怖さ 地域へ訴え

福井大生作製パネル きょうから展示

社南公民館「平和 考える機会に」

ふくい 戦後70年



展示の準備を進める井上さん（左）ら＝18日、福井市社南公民館

戦後70年の節目に合わせ、福井市社南公民館で22日から、核兵器の恐ろしさなどを訴えるパネル展「未来へツナグ」が始まる。パネルは、福井大のサークル「ピース・クリエイターズ・クラブ」が作製した。同公民館では「親子で足を運んでもらい、平和を考えるきっかけにしてほしい」と話している。8月30日まで。

パネルは同サークルが、今春の大学祭で展示するために作製したもので、内容に共感した公民館の担当者が展示を依頼した。

パネルでは、福井大と仁愛大の学生約300人から回答を得たアンケートで、日本で原爆が落とされた日と二つの都市名を聞いたところ、半数以上が「知らない」とした結果を紹介。戦争の記憶が薄れていることに警鐘を鳴らしている。

公民館の担当者は「若者が平和のことを考え、行動に移していることを代表の井上大志さん（21）＝工学部3年＝も「学生だけでなく、いろんな地域の人に触れてもらいたい」と話す。サークル地区の人にも見てもらいたい」と話す。サークル（調査結果に）えている。（桂知之）

2015年（平成27年）7月22日　福井新聞

「被爆ピアノ」平和願う音色

広島から至民中に搬入

生徒代表が演奏披露



「被爆ピアノ」で演奏する生徒＝14日、福井市至民中

1945年に広島市へ投下された原爆で傷ついた「被爆ピアノ」の演奏会が14日、福井市至民中で開かれた。全校生徒約380人を前に、生徒の代表が演奏。ピアノの音色を通じ、生徒たちはあらためて平和の大切さについて考えていた。（桂知之）

「被爆ピアノ」は、広島市のピアノ調律師の矢川光則さん(63)が5台所有している。矢川さんの知人の東眞美子さん(59)＝越前市文京2丁目＝を通じ、同校と地域の社南公民館が連携して演奏会を企画した。

至民中に持ち込まれたのは爆心地から約1・8㌔の民家にあり、元の持ち主の名前から「ミサコのピアノ」と名付けられた1台。修復されたが、爆風でガラス片が突き刺さった跡などはそのまま残されている。

演奏を前に、矢川さんは「ピアノとの出合いを、原爆や平和の尊さを考えるきっかけにして」とあいさつ。東さんは「ミサコのピアノ」を題材とした絵本を朗読した。

続いて1、2年生5人が演奏し、ほかの生徒はピアノの調べを真剣な表情で聴き入っていた。ショパンの「革命のエチュード」を演奏した2年の山崎愛音君(13)は「古い感じはあるが、音はちゃんとしていて、ここまで直るのはすごい。戦争などがないように平和に暮らしたいと思った」と話していた。

2015年（平成27年）10月15日　福井新聞

花嫁修業 ばっちり

社南公民館講座 晴れ姿披露



ウエディングドレス姿で記念撮影する参加者＝福井市の出雲記念館

20代の未婚女性を対象に、料理や所作などを学んでもらう社南公民館の講座の修了式がこのほど、福井市渕2丁目の出雲記念館で開かれた。「現代版の花嫁修業」（同公民館）と銘打った試みだけに、ウエディングドレス姿の記念撮影で締めくくり、参加者は大喜びしていた。

同公民館が、同記念館などを運営する「出雲グループ」と協力して実施。4年目の今年は20代の女性7人が受講し、5回にわたり美しい立ち方から部屋の片付け方、貯蓄のノウハウ、ごちそうの作り方などを学んできた。

修了式には6人が参加し、お気に入りのドレスを選んで記念撮影。「心に残る体験ができた」「感動した」などと笑顔を浮かべていた。同公民館では「食事のマナー講座など参加者の要望も踏まえ、来年も続けたい」としている。（桂知之）

2015年（平成27年）10月16日　福井新聞

三輪車競走 親子ら白熱

福井・社南公民館まつり



写真＝など多彩な催しを楽しんだ。福井新聞やしろ南販売店は移動編集車「風の森号」を出動し、来場者の写真入り「マイ号外」を発行した。

福井市社南公民館で25日、地区の「ふれあいまつり」が開かれ、住民が三輪車競走＝が初めて企画。子どもから大人まで、10㍍コースでタイムを競った。元気にペダルをこぐ児童に負けじと、父親ら大人は大きな体を揺らして悪戦苦闘していた。

三輪車競走は、20～40代の住民20人でつくる社南青年会

マイ号外は、模擬店などでにぎわう会場で撮影した来場者の写真と、まつりの記事を掲載。その場で完成したオリジナル新聞を手にした親子連れは、「いい思い出になりそう」と笑顔を見せていた。（細川善弘）

2015年（平成27年）10月26日　福井新聞

福井新聞　2015年（平成27年）11月13日（金曜日）

描いた絵 本物ケーキに

社南地区 小中生デザイン

最優秀3人へプレゼント

子どもたちが描いたお菓子の家を、本物のケーキにしてプレゼントする福井市社南公民館の「おかしの家デザインコンテスト」の表彰式が12日、社南小と至民中で行われた。最優秀賞に輝いた中出咲良さん（社南小5年）と油谷実紅さん・加畑唯花さん（至民中1年）に、それぞれデザイン画を基にパティシエが作ったケーキがプレゼントされた。

子どもたちに、願えば夢がかなうことを知ってもらおうと企画し3回目。ことしは両校の児童生徒から94点の応募があった。校長や同公民館長らが審査し、両校それぞれに最優秀賞と優秀賞を決定。同地区内の洋菓子店「オルロージュ」が最優秀賞2点のデザイン画をケーキで再現した。

中出さんは、大好きな黒ネコをモチーフにしたお菓子の家を描いた。希望通りネコの耳や家の外壁にはチョコレート、屋根にはグミを使用している。内部にはバームクーヘンや生クリーム、フルーツをふんだんに詰めた。中出さんは「食べるのがもったいないが、家族みんなで食べたい」と笑顔で話した。

油谷さんと加畑さんは、マカロンやクッキーなど二人が好きなお菓子がたくさん詰まった夢のタワーを描き、絵が忠実にお菓子になった様子に驚いていた。（嶋本沙織）



加畑さん（左）と油谷さんが描いた「夢のおかしタワー」＝12日、福井市至民中



中出さんが描いた「黒ねこのおかしの家」＝12日、福井市社南小

きょうの1枚



「夢を〝甘く〟再現」（24面）

ぶらりふくい

ふれあい広場

▽公民館まつり（10月下旬～11月上旬、社南公民館）福祉まつりと同時開催。自主グループの発表や作品展示では、体験型イベントが多いのが特徴。

▽納涼まつり（7月第4土曜日、社南小学校校庭）ゲストのステージや民謡大会のほか、一般参加ステージのコーナーでは、地区内の児童、生徒らが日頃の活動成果を披露する。

▽はたちのつどい（1月10日、社南公民館）成人式当日の午前中に、小学校時代の恩師を招き、昼食を共にしながら旧交を温める。

独自の防災対策進める



竹内寛館長



防災訓練に臨む住民たち＝2014年6月、福井市社南小学校で（社南公民館提供）



毎年の更新で充実させている防災倉庫の機材＝福井市社南小学校で

援護が必要な人の支援制度や、各世帯で負担する自主防災会費を財源にした防災対策など、福井市社南地区では、独自の防災対策を継続的に進めている。

「社南地区は、江端川、狐川、日野川が流れ、昔から水害の多い地区でした」と話すのは、社南公民館の竹内寛館長。二〇〇四年の福井豪雨の後、防災対策を見直す動きが始まった。新興住宅地などが多い地域の特性や、高齢化などを踏まえながら、地域防災力を高める努力を続けてきた。

〇七年からは〝自主財源〟の防災会費で住民の協力を得ながら、独自に防災機材の充実や、啓発活動を進めてきた。要援護者カルテも更新を続けている。

こうした対策を担う地区自主防災会連絡協議会は、さらなる体制強化に向け、避難誘導、救出救助などの部会制に組織を再編し、より効率的で対応力の高い組織づくりに取り組んでいる。女性部会も設置し、避難所のトイレや着替え、介護などの面でより気配りが行き届いた体制づくりを目指す。

桶谷忠義会長は「これを機会に、防災対策の底辺をさらに広げて、（救助や介護などで）防災面で活躍できる人材の発掘にもつなげたい」と意気込む。

（畑結樹）



組織再編し体制強化

福井市社南地区

人物交差点

行事や風景 映像に

塚谷英一郎さん（80）



地区の行事や風景の記録を撮り続ける塚谷英一郎さん＝いずれも福井市社南公民館で

「福井市社南教育メディア連絡協議会」の役員として、十四人のメンバーとともに約四十年にわたって、ビデオで地区内の行事や風景などの記録を撮り続けている。

中学生時代から写真撮影を始め、8ミリ時代から数えるとビデオのキャリアも約六十年。「音や映像で昔のことを残すのは記録として大事」と、プロ顔負けの機材で記録に励む。撮りためた過去の映像をみんなが見られるようにと、約一年かけてDVD化したこともある。

公民館の行事だけでなく、「定点観察」として、地区内の風景の記録撮影も続ける。新しい至民中学校など「昔は想像もしなかった」変化を感じることもしばしばだとか。「これからもできるだけたくさん記録を撮り続けていきたい」と意欲を燃やす。

毎月欠かさず訓練

山田健治（たけはる）さん（69）



社南公民館2階の基地局で防災無線クラブの取り組みを語る山田健治さん

「社南地区防災無線クラブ」の会長として、災害時には地域の情報収集・伝達を担う。二〇〇八年に三十三人で発足し、約半数は「晩酌を休んでまで勉強に励み」、無線の免許を取得した。

独自に作った地図上の座標で災害があった場所を報告する方法を定め、「災害はいつ起こるかわからない」と、毎月欠かさず呼び出し・返答の訓練を続けている。その手際のよさは、地区防災訓練に訪れた消防関係者も絶賛するほど。

広域避難所の公民館と小学校、中学校にアンテナを上げて基地局を設置。災害時に安否情報などを伝達する情報協定を小、中学校と締結するなど活動の幅を広げており、「細く長く地道に活動を続けていきたい」と語る。

公民館の“お宝”拝見

住民作詞の地元音頭（社南）

情景や歴史 歌で継承

地区内の17地域の特色を歌詞に込めた音頭を書き記した木板が、社南公民館に飾られている。

音頭は1997年に「うらがまちづくり社南委員会」が制作。メンバーが各自治会を回り、それぞれの特徴を表す歌詞を1フレーズずつ考えてもらった。

「門前とせ 川をせきとめ田んぼを鴨池に 福井藩主の殿様が 猟場に選んだ門前町」―。江戸時代の福井市門前町の様子を歌った「社南音頭」の一部。社南17番まである歌詞は「渕とせ」「種池とせ」など必ず地名から始まり、まちの様子や歴史などが続く。「新江守中とせ 此れからのびゆく新興団地 いろんなお店も出来まして ますます栄える新天地」は、住宅街ができ発展していく様子を表した。

夏の納涼祭では毎年、この音頭に合わせて住民が踊り、今も大事に受け継がれている。

同委員会の事務局だった横山栄さん(78)は「みんなで協力してできた自慢の歌」と誇らしげ。「新興住宅が増え、土地の歴史や風習を知る人が減る中、歌を通して若い人や地区外の人にも特色を知ってほしい」と話している。（嶋本沙織）



地区の歴史や特色を歌詞に込めた「社南音頭」を記した木板＝福井市社南公民館

2015年（平成27年）12月26日　福井新聞

社南自慢の桜 マップに

公民館 19ヵ所 写真で紹介

隠れた名所も

福井市社南公民館はこのほど、住民らから寄せられた社南地区自慢の桜19カ所を写真で紹介したマップを作製。地区内全戸に配布した。同公民館の真柄麻美主事は「桜を通して、地区内外の人たちに社南の魅力を再発見してもらいたい」と期待を込めている。（嶋本沙織）

マップはカラー、A4サイズ。19カ所の桜の位置情報のほか、過去の満開時の写真を掲載した。山と田んぼの緑の中に桜のピンクがひときわ映える南江守町の盛福寺の大樹や、児童たちの登下校を見守る社南小前の桜並木など、同地区全域に点在する桜をマップで紹介している。

2年前から住民らに情報提供を呼び掛け、真柄主事が写真を撮影して回った。住民からの提供写真もある。

門前町公民館の桜は花見の時期、住民らがバーベキューするなど憩いの場として親しまれているという。真柄主事は「地区の人も知らない隠れた名所もある。マップを手に地区内を巡り歩いてほしい」と話している。

地区全戸に配布したほか、社南公民館のホームページにも載せた。引き続き桜情報の提供も呼び掛けている。

問い合わせは同公民館＝☎0776（35）9559。



住民らからの情報を基に作製した社南地区桜めぐりマップ

足羽山

◆…社南公民館は地区内の桜スポットを紹介するマップを作製した。マップを見ると至る所に桜があり、いかに桜が誰からも親しまれる存在であるかが分かる。

◆…「著名な桜の名所と比べると見た目の派手さは無いかもしれないが、どれも住民に愛され見守られてきた自慢の桜」と写真を撮り集めた真柄麻美主事。マップを手に、隠れた名所探しに出掛けてみてはいかが？（嶋本沙織）

2015年（平成27年）12月31日　福井新聞

社南地区（公民館）のできごと

4月　コミュニティー助成事業の助成決定

６月　社南青年会設立準備会始動

７月　夏休み特別展示実施
福井大学ＰＣＣ（ピース・クリエイターズ・クラブ）
～ミライへつなぐ、核兵器のない世界へ～

10月　被爆ピアノコンサート開催（至民中学校にて）
社南おもてなし隊発足

11月　認知症ひとりあるき模擬訓練実施

28年３月　社南桜めぐり“桜マップ”第１号発行

☆☆☆平成 27 年度　重大ニュース☆☆☆

- イスラム国が日本人男性２人を拘束、殺害映像を公開
- 北陸新幹線、長野－金沢間が開業
- 敦賀気比高校センバツ高校野球大会で優勝
- 第 18 回統一地方選挙
- 選挙権年齢 18 歳、改正公職選挙法が可決成立
- 又吉直樹さん、芥川賞受賞
- ラグビーW杯（イングランド大会）で日本歴史的３勝
- 台風 11 号、18 号で甚大な被害
  関東・東北豪雨、茨城などで８人死亡
- 安全保障関連法が成立
- 東京五輪エンブレム撤回　再公募に
- 新国立競技場の建設計画を白紙撤回
- 大村智氏・梶田隆章氏、ノーベル賞受賞
- 全国体力調査、小中学男女とも福井県１位
- 従軍慰安婦問題で日韓合意
- ＴＰＰ、日米など１２カ国で大筋合意
- マイナンバー制度スタート
- パリ同時テロ、１３０人死亡
- マンション傾斜、杭打ちデータ偽装
- 北朝鮮が４度目の地下核実験実施
- 民主党と維新の党が合流、「民進党」結成